

小牧市学校教育 I C T活用支援業務委託仕様書

- 1 業務名** 小牧市学校教育 I C T活用支援業務委託
- 2 委託期間** 令和 7 年 4 月 1 日～令和 1 0 年 3 月 3 1 日
※上記期間において、歳入歳出予算の金額について減額又は削減があった場合は、当該契約を変更もしくは解除する。
- 3 主な委託場所** 小牧市内小学校 1 6 校、小牧市内中学校 9 校及び学校教育 I C T 推進室

4 内容

学習指導要領、小牧市教育大綱及び第 2 次小牧市学校教育 I C T推進計画に基づき、市内小中学校において、次に掲げる I C T活用支援業務（従事する I C T支援員（以下「支援員」という。）の指導・研修・管理等を含む。）及びその運営の一切の業務

（1）訪問回数及び業務日

① 訪問回数 原則 1 校あたり月 4 回（年間合計 1 2 0 0 回）

② 業務日

業務実施日は週 5 日（月～金曜日）とし、市及び配置校と協議のうえ、年間の訪問計画を作成したうえで、担当の市内小中学校を巡回する。また、学校運営に支障が出ないように、毎月末までに、翌月の訪問計画を市及び配置校に提出することとする。

学校の長期休業中（学年始休業、夏季休業、冬季休業、学年末休業）の訪問については、市及び配置校と協議のうえ履行する。

受注者は支援員の病気等の事由により、訪問予定日に訪問しがたい場合は、速やかに配置校に連絡し、代替日等を協議するものとする。

市はウイルス感染症の感染拡大等により臨時休校及び学校閉鎖等の緊急事態により、訪問計画を変更する必要がある場合は、速やかに受注者に連絡し、代替日もしくは、I C T支援に寄与すると認めた活動（支援準備・教材作成等）等の代替手段について協議するものとする。

（2）訪問時間

原則として、1 回につき 1 日 8 時間（午前 8 時 3 0 分から午後 4 時 3 0 分、途中 6 0 分間の業務を行わない時間を含む。）とするが、具体的な時間については、配置校の日課に合わせるものとし、市及び配置校と調整のうえ決定する。

※原則、1 日に 1 校の巡回とする。

（3）主要業務

○管理等業務

- ① 受注者は、各小中学校に支援員を配置し、支援員が十分に学校の支援を行えるよう事業所内に支援員とは別に総括責任者及び研修責任者を置くこと。ただし、総括責任者は研修責任者を兼ねてもよい。
- ② 総括責任者及び研修責任者は、I C T支援員能力認定試験又は教育情報化コー

ディネータ 3 級以上の合格者であること。

- ③ 総括責任者は、市及び各学校との緊密な連携をとり、支援員の管理監督及び全体を統括するコーディネータ的役割を果たし、支援員が十分に学校支援を行えるように支援員配置の日程調整・管理、業務状況の把握、指示・指導・助言などの管理及びサポートを行うこと。
- ④ 研修責任者は、どの学校でも均質かつ的確な支援を受けられるように、支援員の継続的な能力向上に向けて適切な育成・研修計画を策定し、実施すること。
- ⑤ 受注者は、学校へ訪問する支援員の中で支援員リーダーを配置すること。ただし、支援員リーダーは総括責任者及び研修責任者とは別に設けること。
- ⑥ 支援員リーダーは I C T 支援員能力認定試験又は教育情報化コーディネータ 3 級以上の合格者であること。
- ⑦ 支援員リーダーは市教育委員会へ月 1 回訪問し、支援員業務に関する打ち合わせを実施すること。
- ⑧ 受注者は、支援員に変更が生じた場合でも円滑に訪問活動を実施できるよう、サポートマニュアルの作成や研修責任者等による同行研修等のフォロー体制を構築すること。
- ⑨ 受注者は、支援員の訪問日以外でも各校の相談及び問合せに対応できるように、市が契約しているネットワークサポート業者及び機器業者等（以下「サポート業者」という。）や学校からの連絡窓口（平日 8：30～17：30）を設けること。

○支援員

- ① 授業支援
 - ・ I C T を活用した教材・実践事例の紹介、提案
 - ・ 授業で使用するワークシート・教材等の作成支援
 - ・ 授業中の I C T 機器等の操作支援（教員及び児童生徒の操作支援、授業配信等）
 - ・ 教職員及び児童生徒向けの操作説明書、掲示物の作成支援
- ② 全市的な I C T 機器の活用促進支援
 - ・ I C T 教育パイオニア校を中心とした各校の研究や取り組みへの支援
 - ・ 優れた活用事例や発生頻度が高いトラブル等の各学校への情報提供
- ③ 教員研修
 - ・ I C T 機器の活用推進に向けたハード・ソフトウェアの校内研修会（全体から少人数まで）の企画、準備、実施支援
 - ・ 市教育委員会主催の研修等の実施支援
 - ・ 研修の実施結果報告書の作成（日時、内容、講師、受講者アンケート結果等）
- ④ 定期活動報告会の実施
 - ・ 学校を訪問した際の作業内容を元に、学期に 1 回、定例報告の実施（定期活動報告会については総括責任者もしくは研修責任者でも可とする）
- ⑤ 先進事例や I C T 活用支援に関する助言
 - ・ 情報モラル教育やプログラミング教育、学習者用デジタル教科書の活用等について、先進的な事例や国、業界及び他自治体の動向を踏まえた情報提供及び助言

- ⑥ 障害対応・環境整備支援
 - ・訪問時に I C T機器の障害が発生した場合の一次対応及び現象切り分け支援（各サポート業者への連絡を含む）
 - ・原因が判明している簡易な I C T機器の不具合に対する処理
 - ・校内 I C T環境の調査及び機器の動作確認等
- ⑦ その他可能な支援等の提案
- (4) 業務遂行上の留意点
 - ① 業務の実施にあたり、サポート業者と必要な連絡調整を図ること。必要に応じて、受注者からサポート業者に支援状況等について情報提供すること。また、受注者は配置校に導入している I C T機器等の稼働状況及び活用方法等について、サポート業者から情報提供を受けることができる。
 - ② 事業内容に若干の変更が生じた場合は、市と受注者が協議のうえ、予算の範囲内で対応すること。

5 支援員の要件及び配置

- (1) 支援員は、配置校に導入している I C T機器（別紙）の活用に関する知識・経験を有すること。また、契約後に I C T機器及びソフトウェアを新規導入する場合においても、当該機器等について理解を深め、活用支援を行うこと。
- (2) 以下の内容を含めた研修を修了していることとする。
 - ① 学校や教員の全般的状況、学習指導要領等の教育的知識に関する研修
 - ② 授業支援の研修
 - ③ 技術研修（ネットワーク知識等を含む）
 - ④ 個人情報・著作権に関する研修
 - ⑤ 情報モラル・情報セキュリティに関する研修
 - ⑥ 児童生徒タブレット端末に導入されている機器及びソフトウェアの研修
- (3) 教員や児童生徒と関わっていくうえで適したコミュニケーション能力を持ち合わせていること。
- (4) 支援員が学校現場で業務を行う際は、名札を着用し、児童生徒の模範となるよう言葉遣いや身なりに注意を払うこと。
- (5) 学校へは原則同一の支援員を巡回させること。ただし、支援員の配置について市から要望があった際には、早急に対応すること。なお、委託期間の途中で支援員が交替する場合は、事前に市と協議し、業務に支障のない体制を維持すること。

6 施設等の使用管理

市は、委託業務遂行上必要な学校備品等（黒板、ロッカー、複写機、印刷機等）を無償で受注者に使用させることができる。ただし、受注者は善良な注意をもって取り扱わなければならない。

支援員と受注者間の連絡や本仕様書に記載のない業務を除き、教材の作成支援作業などで、校内のコンピュータを使用する必要があると配置校が認める場合は、校務外部接続系 PC、コンピュータ室の PC 及び児童生徒用タブレット型 PC などを使用させることができる。

7 実績報告書等の提出

- (1) 受注者は、月ごとに業務の実施状況を、「実績報告書（月例報告書）」により翌月10日までに市に提出すること。年間業務完了後は「実績報告書（年間）」により3月31日までに市に提出すること。
- (2) 業務の実施にあたり、作成したマニュアルやICT活用事例集、成果報告書などの成果物については、CD-ROM等の媒体に保存し、1枚納品すること。また、成果報告書にかかる著作権は、市が所有する。なお、受注者は、市が承諾した場合には、個人情報の保護に配慮したうえで、成果物（業務を行う上で得られた記録を含む。）を使用又は複製し、また、公表することができる。

8 経費等

- (1) 本委託作業に要する経費は全て受注者の負担とする。ただし、学校における光熱水費及び支援のために校内で消費するICTに係る経費（プリンタ消耗品等）については、市が負担する。
- (2) 支援員が、業務の場所に移動する際に用いる車両（燃料費、保険料を含む。）は受注者が措置すること。
- (3) 受注者の瑕疵により、学校のICTに機器等の故障など損害を与えた場合は、受注者が当該機器の修繕等に係る経費を負担すること。

9 委託料の支払い

委託料の支払いは、委託契約金額の年額を12回に分割して支払うものとする。各月の検査合格後、受注者の請求書に基づき支払うものとする。（ただし、端数が生じた場合は、初回支払金額に含む。）

10 その他

- (1) 細部の運営については、各学校の事情にあわせること。
- (2) 支援員はあくまでも受注者に所属し、市より受注者に直接指示を依頼し、受注者より支援員に指示を与えるものとする。
- (3) 本契約の履行にあたり、小牧市個人情報保護条例（平成15年9月小牧市条例第22号）を遵守すること。
- (4) 本契約の履行にあたり、小牧市教育委員会情報セキュリティポリシー及び小牧市教育委員会ネットワーク運用ルールを遵守すること。
- (5) 委託期間中、学習指導要領の改訂や法令等の改正により、教育内容に大きな変更等が生じる場合は、市と受注者が協議するものとする。
- (6) 本仕様書に定めのない事項については、市と受注者が別途協議のうえ、決定する。

小牧市が導入しているICT機器一覧

資料4

1. ハードウェア

設置場所	機器名	メーカー名・機器
普通教室・特別教室	プロジェクタ (普通教室用)	EPSON製 EB-760Wi
	電子黒板機能 (特別教室用)	さつき製 M75S4
	Apple TV	Apple製 Apple TV 4K 64GB Wi-Fi
	大型モニタ (一部学校、教室を除く)	日立製 PMT-5030XG (小学校のみ)、 パナソニック製 TH-P50G1EH
	実物投影機	エルモ社製 L-12W他
	アクセスポイント	Cisco製 MR46-HW
授業用端末	教員用校務外部系タブレット型PC	Apple製 iPad Wi-Fi 256GB (小学校、小牧中、篠岡中、光ヶ丘中) Microsoft製 Surface Pro6 (上記以外の中学校)
	児童用端末	Apple製 iPad Wi-Fi 32GB
	生徒用端末	Apple製 iPad Wi-Fi 64GB (小牧中、篠岡中、光ヶ丘中) Microsoft製 SurfaceGO2 (上記以外の中学校)

2. ソフトウェア

(1) 中学校

メーカー	ソフトウェア名	教員機	生徒機
マイクロソフト	Office ソフトウェア (Word、Excel、Power Point)	○	○
マイクロソフト	Office 365 A3	○	○
ロイロ	ロイロノート	○	○
ラインズ	ラインズeライブラリアドバンス	○	○
Soliton	DNS Guard		○
広島教販	事例で学ぶNetモラル	○	○
光村図書出版	光村「国語デジタル教科書」中学校1～3年	○	
啓林館	デジタル教科書 未来へひろがる数学 1～3年	○	
帝国書院	デジタル教科書 中学校社会科地図	○	
東京書籍	中学校デジタル教科書 新しい社会 地理・歴史・公民分野セット	○	
東京書籍	中学校デジタル教科書 新しい科学 1～3年セット	○	
東京書籍	中学校デジタル教科書 NEW HORIZON 1～3年セット	○	
東京書籍	中学校デジタル教科書 新しい技術・家庭 二分野セット	○	
Afrel	レゴSPIKE プライムアフレルセット		
東京書籍	映像データベース 社会 地理		
東京書籍	映像データベース 社会 歴史		
東京書籍	映像データベース 社会 公民		
東京書籍	映像データベース 保健体育		
JUSTSYSTEM	ジャストジャンプ クラス2		
JUSTSYSTEM	ATOK Pro 4 for Windows		
JUSTSYSTEM	JustOffice3 Standard JL-Education		

(2) 小学校

メーカー	ソフトウェア名	教員機	生徒機
マイクロソフト	Office ソフトウェア (Word、Excel、Power Point)	○	○
マイクロソフト	Office 365 A3	○	○
ロイロ	ロイロノート	○	○
ラインズ	ラインズeライブラリアドバンス	○	○
Soliton	DNS Guard		○
日本コスモトピア	みんなの学習クラブ	○	○
広島教販	事例で学ぶNetモラル	○	○
啓林館	わくわく算数 1～6年	○	
光村図書出版	光村「国語デジタル教科書」小学校版 1～6年	○	
東京書籍	新しい理科 全4巻セット	○	
東京書籍	新しい社会 全4巻セット	○	
東京書籍	新しい家庭	○	
帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	○	
教育出版	小学校 書写 1～6	○	
日本文教出版	図画工作 1～6	○	
文部科学省	Let's Try!1, 2	○	
小牧市	デジタル版 副読本「こまき」	○	
東京書籍	東京書籍コンテンツパック (小学校理科デジタル掛図Ver. 3 3～6年セット・小学校社会科デジタル掛図Ver. 3 3～6年セット・算数シュミレーション Ver. 4)	○	
東京書籍	東京書籍コンテンツパック (Junior Horizon・映像データベース 生活・体育・算数シュミレーション)	○	
アイロボット	プログラミングロボット RootRt1		
ポケモン	ポケモンPCチャレンジ	○	
Chieru	フラッシュ型教材 (英語3巻・算数8巻・基礎基本6巻)	○	
JUSTSYSTEM	ジャストスマイル7		
JUSTSYSTEM	ATOK Pro 4 for Windows		
JUSTSYSTEM	JustOffice3 Standard JL-Education		

※統合型校務支援システム (EDUCOM C4thマネージャー) を導入済だが、校務支援システムの操作支援については、別途サポート業者に委託。